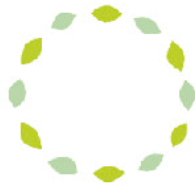


2 月号

ひだまり

わかくさこども園



2023.1.30



気になるひとたち

(2023.1.20)

縁側に寝そべり、一枚の紙を囲むももはなの4人。

自由あそびの時に“めいろ”を作ったと言う女の子が、友だちにやり方を話して聞かせている。

「あのね、スタートはどこでもよくて、この赤いところを、1、2って数えながら進むの。それでね、・・・」

すごろくみたいに赤いマスをたどり、ゴールを目指す“めいろ”らしい。

ほかの3人は、“めいろ”より、一生懸命説明する友だちの姿が気になっている様子。時折首を縦に振りながら、友だちの話に顔を寄せる。

伝えたいひとと、気になるひとたち。ほほえましい背中が並んだ、ぽかぽか陽気の昼下がりでした。



2月の予定

8日（水）避難訓練

9日（木）こむぎ保護者会

10日（金）ゆずは保護者会

17日（金）ももはな・ふじ・みそら保護者会

20日（月）ももはな・ふじ・みそら体操参観

24日（金）みそらお別れ遠足（幼稚園休園）

なんでもない日の、子どもたちのこと

わかくさの今とこれから。子どもたちのことを思いつくまに。

園長 習田 和正



笑う門には福来る

2023年がスタートして1ヶ月が経ちました。世の中は、コロナの感染が少し落ち着いてきているようですが、先週は「10年に一度クラス」とも言われる最強寒波がやってきて、最低気温が氷点下となるさむーい日が続きました。大人にとっては身に堪える寒さでも、晴れていればいつも通りに園庭に出て、元気に追いかけてこを始める子どもたち。「子どもは風の子」のことわざがよく似合うなあと、感心しながら見えます。

話は変わりますが、1月といえばお正月。みなさんは子どものころ、どんな遊びをしていましたか。羽根つきにたこあげ、福笑いやかるた、すごろくにこま回し。実は、お正月の遊びは、レポートリーがとても多いのです。私も小さい頃は近所の子たちとたこを手作りして、どれだけ高く上げられるか、寒さも忘れて一日中遊んでいた子どもでした。

今ではなかなか見なくなった遊びもありますが、日本の伝統文化として昔から伝わるお正月あそびは、縁起を担ぎ、「新しい一年がより良くなるように」との意味や願いが込められているそうです。園でも季節に応じて、こういった日本の伝承遊びをすることもありますが、この1月も各クラスでいろんなお正月あそびを楽しみました。

手作りのたこあげに挑戦したのは乳児クラス。ゆずはさんは、たこに自分の好きな絵を描きました。ひもを持って走るのですが、たこが自分のうしろを付いてくるのが楽しい。園庭や公園、広い場所で思う存分走り回りました。

幼児は、制作活動と合わせてお正月遊びを考えてみました。面白かったのが、「自分の顔」をテーマにした福笑い。画用紙に顔の輪郭を描き、それとは別に目や口などのパーツを作ります。自分の顔の特徴を考えながら、一人ひとり個性が光る作品ができました。

そして、ここからが福笑いの醍醐味です。顔のパーツをどう組み合わせ、いかに変な顔を作れるか、友だちを笑わせられるかが、子どもたちの間では勝負どころになってきます。この福笑いが出来合いのものではなく、自分や友だちの顔だからこそ、余計に面白い。周りで見ている先生たちも思わず吹き出してしまう、大笑いの福笑い大会になりました。



友だちと、大きくなる

『自分だけではない、友だちの存在に気づいていく。他者との出会いから開く新たな感情の花を大切に见守りたい』。これは、ももはなの保育指針です。私たちが一年間で大切にしたい目標でもあり、その時期の子どもたちの姿を具体的に捉えるための目安でもあります。（園のしおりにも載せてあるので、ぜひゆっくり読んでみてください）

特に3歳から4歳にかけては、友だちの存在がどんどん大きくなる時期です。自分という世界を飛び出して周りに目を向けるきっかけになりやすいのが、身近なクラスの友だち。おもちゃを一緒に使う、おままごとを一緒にするなど、少しずつ遊びを共有し、「友情」という概念はまだなくても、友だちとの関わりが楽しいと思えてきます。

「おもちゃも先生も、全部自分のもの！」と主張していた4月、5月。ある日の縁側で、友だち同士のやり取りを楽しむかわいらしい背中たちを見ながら、この一年の成長をしみじみと感じました。

そして、友だちの存在が大きくなるからこそ芽生える、自己主張や競争心。『とことん試して、ぶつかって、考えて。友だちのことで悩むこともあるけれど、一つひとつの経験が空に向かって蕾を結んでいく』のが4歳です。友だちといっぱいけんかする、けれど、それは自分の中で抱えきれない思いがたくさ

んあるから。いつも近くにいる先生や友だちに思いを受け止めてもらったり、認めてもらったりしながら、年長さんに向けて自信や挑戦心を育てていきます。

そして年長、『誰かの思いを感じて、自分らしく表現していく。園の年長者としての自信をつけ、大空に向かってはばたけ』。友だちと気持ちを「共有」しようとする姿が出てきて、仲間意識が強くなります。

この間もみそらで、「友だちに手紙を書く」ことをテーマにした郵便ごっこが盛り上がっていました。「またいっしょにおりおにをしよう」「しょうがっこうたのしみだね」など、手紙に楽しかったことや、これから楽しみなことを書いて、“伝えること”と“伝えてもらうこと”のうれしい気持ちを味わっていました。また、友だちとけんかをして、自分の気持ちに折り合いをつけ、話し合いができるようになってくるのも年長さん。友だちとのやり取り一つひとつが、ぐっと深くなってきています。

うれしい、たのしい、やりたい、かなしい、いやだ。色んな気持ちを教えてくれる友だちという存在。こども園で、一緒にいたい、大事だと思える友だちとたくさん出会って、大きくなってほしいなと思います。



保健だより

一段と寒い日が続いていますね。寒いからといっておうちの窓を閉め切っていませんか。長い時間換気をしない室内はウイルスやほこりで汚れてしまいます。寒くてもこまめに換気を行い、空気の入替えを心がけましょう。感染症もまだまだ流行っています。手洗い・うがいをしっかり行い、予防に努めましょう。

また、気温が低く乾燥した日が続いています。加湿器の使用や洗濯物の部屋干しなどで、室内の湿度調節を行い、衣類は通気性がよいものを選びましょう。



○スキンケアのポイント

みずみずしく見えるこどもの肌ですが、実は大人よりも表面を覆っている表皮がずっと薄いので乾燥しやすいのです。また、皮脂の分泌量も少ないため、バリア機能も低く、汚れや汗などの刺激ですぐに荒れたりかぶれたりすることもあります。肌に合った保湿クリームなどをこまめに塗って、水分や脂分を補いましょう。

○入浴のポイント



毎日の入浴で体を清潔に保つことは大切ですが、洗浄力の強い石鹸やボディソープで洗うと、かえって肌を乾燥させます。洗浄剤ゆるやかで刺激の弱いものを少量、よく泡立ててから使いましょう。肌が乾燥気味の場合は、タオルを使わず手で優しく洗う程度で十分です。また、保湿成分を含む入浴剤を使用するのも効果的です。かゆみの強いときは、ぬるめの湯温で入浴しましょう。

○あかぎれになったら



皮膚が極度に乾燥し、潤いがなくなることで外からの刺激を受けやすくなり、割れて炎症をおこしたものがあかぎれです。基本的なケアはワセリンなど油分が入った保湿剤を塗り、血行をよくすることです。ただ、切れた部分から細菌感染を起こして、じくじくしてしまうことがあるので、その場合は皮膚科を受診しましょう。



看護師・藤井 佑季



2月 保健の予定

13日（月） こむぎ・ゆずは 身体測定

14日（火） ももはな 身体測定

15日（水） ふじ・みそら 身体測定

わかかさこども園

wakakusa kodomoen